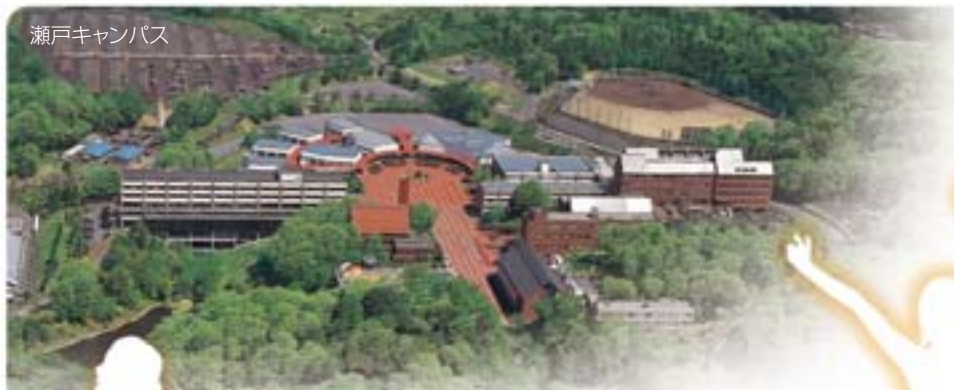




COSMORAMA

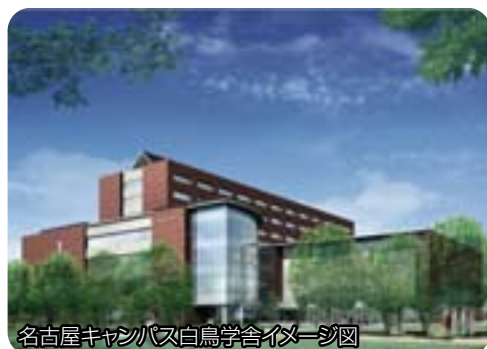
NGU NEWS

瀬戸キャンパス



76

2006 November



名古屋キャンパス白鳥学会イメージ図



名古屋キャンパス白鳥学会(11月現在)



Culture & Human Resources

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

松原武久

名古屋市長

トップ対談実現



伊藤信義

名古屋学院大学理事長

日経BPムック「変革する大学」シリーズ
名古屋学院大学2006-2007版にて



日経BPムック「変革する大学」シリーズ 名古屋学院大学2006-2007版が9月14日に発行されました。「変革する大学シリーズ」ではトップインタビューをはじめ、対談、各学部レポートなど話題を豊富に掲載。常に進化し続ける名古屋学院大学の魅力をお伝えしています。ここでは、松原武久名古屋市長と伊藤信義本学理事長の誌面对談より抜粋し掲載いたします。

Conversation

伊藤理事長(以下伊藤) 施設は2カ所にあり、どちらも熱田区です。1つは地下鉄名港線日比野駅のすぐ上にある日比野学舎、もう1つが堀川を挟んで熱田神宮公園の向かいにある白鳥学舎です。白鳥学舎はちょうど、名古屋国際会議場と白鳥公園・白鳥庭園の間に位置します。都心でありながら自然環境に恵まれた絶好の場所だと思います。

2007年4月、名古屋学院大学は、これまでの瀬戸市から名古屋市熱田区にキャンパスが移転します。現在建設中の名古屋キャンパスについて、お話しください。

日経BPムック「変革する大学」シリーズ 名古屋学院大学2006-2007版

2006年9月14日発行 定価1,200円

- トップインタビュー 小嶋博 名古屋学院大学学長
- 巻頭対談 松原武久 名古屋市長
伊藤信義 本学理事長
- Part1 “21世紀型大学”へと変貌する教育システム
- Part2 加速する学部改革
- Part3 実績ある地域貢献・社会貢献
- Part4 手厚く多彩なキャリア形成支援プログラム

「変革する大学」シリーズは、各大学の教育改革、研究プロジェクト、社会貢献を丸ごと一冊掲載。積極的に改革を進め「個性」「独自色」を打ち出す大学を取り上げており、社会人向けの大学解説書として定評があります。

CONTENTS

Conversation

- 1 トップ対談実現
松原武久 名古屋市長×
伊藤信義 名古屋学院大学理事長

Topics

- 2 経済学部の「経済学基礎知識1000題」プロジェクトが文科省「特色GP」に選定
- 3 金融・メーカー・IT関連への就職が好調。質重視の採用により、二極化現象が一段と強まる
- 4 名古屋キャンパス開設について(2)
—名古屋キャンパス開設にともなう決定事項について—
- 5 国際ボランティア参加
トルコで花壇造り!

Essay

- 6 シリーズ⑧エッセイ
106年前の蓄音器が語る今宵
増田喜治

My lecture diary

- 7 私の講義日誌⑯ 清水良郎

Campus Now

- 8 2006年度 父母懇談会を終えて
- 2006年度 学部長表彰
- 9 2006年度 父母会総会開催
- 10 2005年決算
- 11 教育振興資金・名古屋キャンパス
チャペル建設資金 募金の御礼とご報告

Information

- 12 特色GP選定記念シンポジウムを開催
チャペル建設資金の募金の
お願いについて
クラブ活動報告
第9回高校生
英語スピーチコンテストを開催
大学祭 盛大に開催
2006年度 新任者紹介
行事予定
(2006年11月~2007年3月)

COSMORAMA(コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

松原市長（以下松原） 白鳥学舎の場所は、もともと堀川に面した貯木場だったところだ。そこを名古屋市がデザイン博覧会の会場に使い、その跡地に国際会議場と白鳥公園をつくりました。名古屋学院大学を誘致した場所は、その跡地の空いていた土地にあたります。

伊藤 瀬戸キャンパスの4つの学部のうち、経済学部、商学部、外国語学部の3つが名古屋キャンパスへ移ります。学生数は約4千人、それに加えて大学院生、教職員、合わせて約3百人も移ることになります。松原 大移動ですね。入試や入学式はどうなりますか。

伊藤 入試は日比野、白鳥両学舎で行うことができますが、入学式は国際会議場を使います。新入生は約1千人ですが、入学式となると、親御さんが来られるのでおよそ倍、2千人を収容できないと無理なものですから。

松原 若い人が4千人、一気に増えるわけですから、活気も生まれるでしょうし、街の印象も変わるでしょうね。

伊藤 ええ、その効果は市にも大学にも大きいと思います。これまでの瀬戸キャンパスには、06年に新設した人間健康学部が残ります。人間健康学部は、健康や福祉の専門家を育てることを目的とした学部で、人間健康学科とリハビリテーション学科の2学科からなります。健康をうたっていることもあり、瀬戸が適切な環境と思います。

美学環境と人材を求めて都心へ回帰

― 郊外から都心へ移転する理由や目的はなんですか。―

伊藤 大きなものとして3つあげられます。全国どこの大学も同じでしょうが、一番大きいのは少子化問題です。子どもの数が減り、07年には大学全入時代に入ります。一方、大学は国公立私立も含めて、学部学科が増えています。個性や特長を出して魅力ある大学にしていかなないと、生き残れないわけです。大学側はただ学生が入ってくるのを待っているわけには

大学と都市の新しい関係

― 都心回帰で始まる名古屋学院大学の挑戦 ―



“都市と大学の関係をもう一度見つけ直してみよう”。

くしくも、旧来のつきあいがある関係で実現した名古屋学院大学理事長と名古屋市長の対談。都心に戻ることになった名古屋学院大学と都市活性化を模索する自治体それぞれが考える大学と街とのかわり方、学生と市民とのコミュニケーション、知的財産としての大学の活用などを、忌憚なく話し合った。大学と都市の発展的関係を探る。

いれない。特に地方の私立大学は深刻です。

松原 やはり名古屋市内、とくに熱田あたりだと利便性も良く、学生に対するセールスポイントとしても有利でしょう。瀬戸のキャンパスは、環境は抜群でしょうが、名古屋市内から電車・バスで1時間以上かかるとなると、ちょっと若い人は考えてしまうでしょうね。

伊藤 2つめの理由はそこなのです。今は勉強だけの時代ではありません。大学生は、アルバイトも遊びもしたいし、今は教室の中の勉強だけでは実社会で通用しない。つまり、実学といっていますが、目で見て体験することも含めて勉強だ。それにはできるだけ変化に富んだ環境が望ましいと考えています。都心のキャンパスなら、その点にアドバンテージがあります。

3つめは、名古屋学院大学がもっと飛躍するにはいけないということです。やはり改革には新しい人材や行動が必要で、そのためには環境も重要になってきます。結局、良い人材が良い大学をつくるわけですから。

松原 かつて都心から郊外へ郊外へと大学が移っていった時代背景には、将来人口が増え続けるだろうという予測があったわけです。学生が増えれば、体育実習の場所や、キャンパスや研究施設に広い場所が必要で、その結果、大学を都会から追い出すような形になっていった。しかし、先ほどの少子化問題のように、子どもや若い人が減り始めた。その若者たちがさらに都会からいなくなるとどうなるか。そういうデメリットはあるわけです。

伊藤 そうですね。若者が増えるだけで、街は変わります。お店やいろいろな施設などの環境や雰囲気が変わるし、活気が出ます。大切なのは街と学生が良い形で共存していくことです。

松原 京都などがそうですね。街の人が学生を大切にしている風が昔からある。郊外型の大学だとなかなか街の人と触れあう機会も少ないんじゃないかな。現にキャンパス移転が決まってるから白鳥地区では、すでに学生向けのワンルームマンションや飲食店、本屋などができ始めています。みんな手くすね引いて待ってますよ（笑）。

伊藤 大学ももう郊外で孤立してはやっていけない時代です。一般社会に入っていく、社会や地域に必要な存在でなければいけないのです。

（以下略）



経済学部の「経済学基礎知識1000題」プロジェクトが文科省「特色GP」に選定

「特色GP」って

文部科学省は、平成15年度から「特色ある大学教育支援プログラム（「特色GP」と略、GPはGood Practiceの略で、「良い事例」を意味する）」事業を行っています。これは、全国の大学・短大で展開されている教育の改善に資する取組のうち、特色

ある優れたものを選定・公表し、模範事例として他大学に参考にしてもらおうというものです。採択された「特色GP」には、優先的に補助金を交付し、その取組の拡充を支援しています。

本年4月、名古屋学院大学は、平成18年度「特色GP」の候補として、経済学部の取組「ITによる経済学部教育の標準化と質保証」を申請しました。全国から寄せられた申請件数は331、選ばれるのはその1割強です。6月の一次（書類）審査、7月の二次（プレゼンテーション）と質疑審査を経て、8月、本学の申請取組が「特色GP」に選ばれました。

本学の取組

「特色GP」に採択された取組内容を紹介します。学生たちの学習力（基礎学力・学習意欲）の多様化は、全国どの大学どの学部でも共通した問題となっています。これに対処する手段として、経済学部は本学の優れたIT環境を利用して、「自学自習」システムの組織的な利用を考えました。それ

The screenshot shows a web-based interface for a self-study system. It displays a list of questions with corresponding answers and a progress indicator. The questions are numbered 1 through 9, and the answers are provided in a structured format. The interface includes a search bar and navigation buttons.

がCCS (Campus Communication System) にリンクされている「自学自習」システム(2002年度導入)の活用です。

「自学自習」システムは、パソコンからネットワークを通じてアクセスすると、択一式の設問が表示され、解答すると正解とともに解説が現れるという一種のeラーニング手法です。経済学部では、その本格的利用のために「経済学基礎知識1000題」プロジェクトを立ち上げ(2004年度)、コンテンツ(設問と解説)作成は学部の全教員が担い、利用促進のために、①利用者のランキング表示、②授業とコンテンツとの連動、③コンテンツの一部を試験に利用する、といった工夫を図りました。また、

学生達の「自学自習」利用履歴は、自動的にデータベースに蓄積されるため、これを対面授業の改善資料に用い、FD(教育手法の改善)活動に役立てることができました。

経済学部の現役学生にしてみれば、「マクロ経済学(入門)」や「ミクロ経済学(入門)」といった科目で、CCSの「自学自習」メニューを何度となく利用しているでしょう。また、他学部の学生も「情報処理入門」等で利用した経験があるはずです。ですから、本学の「特色GP」の実態が「自学自習」だと思わず、「なんだ、CCSの『自学自習』のことか」と思うかもしれません。しかし、CCSは名古屋学院大学が全



経済学部長
きぶね ひさお
木船 久雄

国に誇る教育・学習・事務支援の卓越したシステムであり、ネットワークにつながれた「自学自習」システムは学習履歴データを組織的にFD活動に利用できるように、市販のCD版の利用とは著しく異なります。

今後の計画

今後3年間には、本取組を次のように拡張・展開しようとしています。それは、①コンテンツの拡充と改良、②「自学自習」問題に関する相談窓口の設置(基礎教育センターに「社会経済」担当の相談員を配置)、③携帯電話からも「自学自習」を利用可能にする、④「自学自習」利用を他学部・大学全体に展開してゆく、⑤学外利用(高大連携や生涯教育)にも道を拡げる、というものです。

経済学部教授会は、学部内に「特色GP推進委員会」を設置し、この取組を確実に推進してゆく体制を整えました。少なくとも現役の経済学部生は、ますますCCSと「自学自習」を利用する機会が増えることでしょう。コンテンツは学内の全ての学生・教職員に公開されるため、誰もが利用できます。学部を問わず、興味と意欲のある学生は、是非、様々な分野の「自学自習」問題に挑戦してください。まずは、CCSをログオンして、「自学自習」ボタンをクリックしてみてください。「自学自習」が、日々進化していることに気づいてもらえることでしょう。

また、本年12月15日(金)には、専門家を招いて本件に絡む「教育の情報化シンポジウム」を名古屋ガーデンパレスで開催します。興味のある方は、是非、ご参加ください。

Topics

〔建設業〕(株)熊谷組、積水ハウス(株)、富士ハウス(株)、三重セキスイハイム(株)
 〔製造業〕トヨタ紡織(株)、フタバ産業(株)、トヨタ車体精工(株)、カヤバ工業(株)、矢崎総業(株)、NTN(株)、(株)東芝テック、サンエツ金属(株)、北川工業(株)、河村電器産業(株)、(株)ソミック石川、三甲(株)、セリア新薬工業(株)、(株)永昌堂印刷、東洋印刷工業(株)、佐川印刷(株)、(株)伊藤園、(株)柿安本店
 〔卸売業〕(株)スズケン、中北薬品(株)、アルフレッサ(株)、丹羽幸(株)、(株)ファイブ・フォックス、(株)ミキハウス、UCCフーズ(株)、トヨタL&F中部(株)、中部富士電機(株)、(株)コクヨ中部販売、リコー中部(株)、イスコジャパン(株)、親和電機(株)、中央工機(株)、(株)名古屋医理科商會、山宗(株)、宮吉硝子(株)、ダイワボウ情報システム(株)
 〔小売業〕(株)名鉄百貨店、ユニー(株)、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)カーマ、(株)パロー、(株)一号館、(株)カインズ、(株)ベイシア、トヨタ生活協同組合、(株)JR東海バスセンター、青山商事(株)、(株)フランドル、GAPジャパン(株)、(株)デニーズジャパン、(株)木曾路、(株)雑貨屋ブルドッグ、(株)ドン・キホーテ、(株)一光、(株)エイデン、(株)オートバックスセブン、(株)スギヤマ薬品、愛知トヨタ自動車(株)、富山トヨペット(株)
 〔金融業〕(株)愛知銀行、(株)十六銀行、(株)百五銀行、(株)第三銀行、(株)中京銀行、(株)富山第一銀行、(株)沖縄海邦銀行、瀬戸信用金庫、豊田信用金庫、半田信用金庫、岡崎信用金庫、岐阜信用金庫、東濃信用金庫、桑名信用金庫、磐田信用金庫、(株)大和証券グループ本社、東海東京証券(株)、あいち知多農業協同組合、海部農業協同組合、陶都信用農業協同組合、伊勢農業協同組合、(株)オリエントコーポレーション、(株)セントラルファイナンス
 〔運輸業〕(株)上組、名港海運(株)、伊勢湾海運(株)、(株)フジトランスコーポレーション、トナミ運輸(株)、信州名鉄運輸(株)、バンテックワールドトランスポート(株)
 〔サービス業〕リゾートトラスト(株)、(株)日本旅行、名鉄観光サービス(株)、(株)名古屋観光ホテル、愛知冠婚葬祭互助会高砂殿、えいすうグループ、(株)さなる(佐鳴予備校)、(株)秀英予備校、(株)NOVA、(株)CSKシステムズ、富士ソフト(株)、NTTデータ・カスタマーサービス(株)、(株)ピーコンIT、アクセンチュア(株)、(株)ビジネスブレイン太田昭和、総合警備保障(株)
 〔公務員ほか〕瀬戸市役所事務職員、土岐市消防職、警察官(愛知・岐阜・静岡・滋賀・石川)、(学)岐阜清泉学院事務職員、(学)名古屋学院大学事務職員

金融・メーカー・IT関連への就職が好調。質重視の採用により、二極化現象が一段と強まる

Recruit

本学学生の状況

2006年3月卒業生は682名が就職を希望し、ここ10年間で最高の数字となる98.5%が決定をしています。今年の4年生についても9月中旬現在で、就職希望者の60%から内定報告があり、好調であった前年度を上回るペースで就職が決まっています。

今年も、大手企業を中心に内定が出る4、5月に内定を得た学生が増加しています。現在までの主な内定先は左記のとおりですが、金融・メーカー・IT関連の優良企業に例年より多くの内定者が出ているのが特徴です。また、女子学生の内定が早いのも目に付き、現時点では男子より女子の内定率が高くなっています。

一般的には志望順位の高い企業から内定をもらえた学生が多く、昨年よりもさらに就職先に対する満足度は上がっていると考えられます。その反面、「売り手市場」と言われているための楽観論から、就職活動のスタートが遅れている学生が例年より増える傾向にあります。

2006年度就職戦線の特徴

「来年3月入社の大卒採用予定調査(毎日コミュニケーションズ)」によれば、採用意欲が非常に高かった前年度との比較でも、文系学部の大卒採用者を増やすと

回答した企業は31.9%もありました。数字だけを見れば、バブル期をしのぐ採用計画ですが、大型の採用を実施する主な理由では「組織の維持存続と強化」「将来の幹部候補・コア人材の確保」「年齢等人員構成の適正化」といった項目が上位を占め、好況感からの採用増というよりは、将来も含めた人材不足感が強く出ています。

将来のためにいい人材が欲しい現在とバブル期では、求められる人物像は異なっており、今の企業が求めるのは「人手」ではなく「人材」です。それは、「採用の質と量の調査(同)」でも、「量より質を重視」と回答した企業が85%以上もあることに表れており、採用数が増加したからと言って、誰もが採用されやすくなったと考えるのは大きな間違いです。

「売り手市場」と言われているだけに学生には強気の傾向があり、評価の高い学生は1社や2社から内定を得られても満足せず、もっといい企業はないかと就職活動が続けて内定を独占していきます。その一方で、何社受けても内定がもらえない学生が、志望企業のレベルを下げないためにいつまでも内定が得られないという、二極化現象が就職戦線の特徴になっています。

学生時代を有意義に過ごして自己実現を

現代の企業が求めているのは学力や専門知識だけではなく、移り変わりが激しい社会の中で環境の変化に対応ができ、自分で判断して行動できる自律型の人間です。この自律とは自己管理ができ、自らが問題を発見して解決策を導いていけることです。そして、幅広い年代の人とのコミュニケーション能力や、説得力のある論理的な考え方のできる人間が求められています。

しかし、それは就職活動の時期になって突然出来るものではありません。大多数の学生は、大学時代が社会へ巣立つ最終段階になります。将来の自分を見据えながら学生生活での目標をもち、達成するための努力を惜しまない有意義な生活を送ることがキャリア形成につながり、自己実現への大きなステップとなるでしょう。



名古屋キャンパス 開設について(2)

▲名古屋キャンパス
白鳥学舎イメージ図



名古屋キャンパス開設にともなう決定事項について



▲アトリウム<白鳥学舎>



▲クラブハウス<白鳥学舎>

いよいよ来年4月に名古屋キャンパスが開設します。これまで、成績表送付に同封したり、CCSやコスモラマなどで「名古屋キャンパスの建物概要や通学方法、移転、授業・クラブ活動、名古屋キャンパスで守るべきこと」などについてお知らせしてきましたが、あらためてご通知いたしますので、ご理解いただき次年度からのキャンパス体制に備えてください。

また、2月以降、順次事務室移転等を行います。ご迷惑をおかけいたしますが、随時、CCSや掲示板などで連絡していきますのでご注意ください。

(1) 名古屋キャンパスに移るのは、来年4月1日現在在学している次の皆さんです。

経済学部生

(下記の6クラブ員を除く。6クラブ員は瀬戸キャンパスで学ぶ)

商学部生

(下記の6クラブ員を除く。6クラブ員は瀬戸キャンパスで学ぶ)

外国語学部生全員

(下記の6クラブに所属していても、授業は名古屋キャンパスで実施)

6クラブ=①硬式野球部 ②準硬式野球部 ③ラグビー部
④サッカー部 ⑤アメリカンフットボール部 ⑥馬術部

以上、6クラブ所属の学生を除き、それ以外の全員が名古屋キャンパスに移ります。

自宅の遠近や、アルバイト、通学時間、通学費用など現状と変更点が出てきますが、大学の方針として決定しましたので、ご理解とご協力をお願いいたします。瀬戸キャンパスは人間健康学部中心のキャンパスになります。

(2) 名古屋キャンパスに移るについて守るべきことは次のことです

名古屋キャンパスは、

○日比野学舎(地下鉄日比野駅上)、白鳥学舎(地下鉄日比野駅・西高蔵駅徒歩10分以内)の非常に交通の便がよい場所にあります。

○学生用駐車場がありません。(自転車専用駐輪場のみあります。)

○キャンパス周囲は住宅地、公園など静かな環境です。

以上のことにより、右記の遵守事項を熟田区と約束いたしましたので、必ず学生の皆さんに守っていただくこととなります。

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 自動車通学 | 全面禁止 |
| | 近隣地下鉄駅周辺、施設・商店駐車場、路上、公園駐車場等への駐車禁止 |
| オートバイ通学 | 全面禁止 |
| | 近隣地下鉄駅周辺、施設・商店駐車場、路上、公園等への駐車禁止 |
| 自転車通学 | 白鳥学舎=登録自転車のみ通学許可 (キャンパス内駐輪場利用) |
| | 日比野学舎=全面禁止 白鳥学舎と日比野学舎間の自転車移動全面禁止 |
| | 近隣地下鉄駅周辺、施設・商店駐車場、路上、公園等への駐輪禁止 |
| 喫煙 | 白鳥・日比野学舎=指定場所以外禁止 |
| マナー | 通学路・周辺公園等での喫煙マナー遵守 (歩行喫煙、ポイ捨て禁止) |
| | 通学路・周辺公園等でのマナー遵守 (ゴミのポイ捨て、横並び歩行禁止) |
| その他 | 公共交通機関の通学利用推奨 |

(3) その他に、名古屋市に住居を移す人は、

- 住民票も移すこと。
- 厳しい名古屋市のゴミの分別方法を理解することなど、新しい生活環境に対応するよう心がけてください。

(4) 名古屋キャンパス概要について

名古屋キャンパスについては、ホームページでご確認ください。これまでの経過を確認していただくことができます。

- スペシャルサイト 新キャンパス情報
- 大学紹介 → 広報誌 → コスモラマ71~75

名古屋キャンパスについてのお問合せ

名古屋学院大学総合政策部 電話 0561-42-0317
Eメール upr@ngu.ac.jp



国際ボランティア参加 トルコで花壇造り!

外国語学部 蟹井里佳さんが
国際ボランティアプロジェクトに参加
「自分の気持ち次第で、
大きく成長できる」



外国語学部英米語学科2年
かにいりか
蟹井里佳さん

をしつかり持つていて、すごく刺激になります。全員英語を母国語としないのですが、コミュニケーションは英語で行います。自分の英語力が足りないのを感じました。討論で自分の言いたいことをはっきりと発言できなかったのが残念です。大学生のうちに、もっともっと勉強してみんなに納得してもらえようようなコミュニケーション力を身につけたいです。

今、本当にボランティアに参加してよかったと思っています。同じ国を見るにしても、何か目的があると見え方が変わってきます。それにプロジェクトの成功も自分の気持ち次第で変わってくる!!全てを学び、吸収しようと思えばプロジェクトも成功し、自分が大きく成長できることを実感しました。

ありがとうございました。いろいろなことにチャレンジをして視野を広げたいという蟹井さん。これからもますます活躍されることを期待しております。

※サムスン
黒海沿岸で最大の工業都市。
イスタンブールから約850km、アンカラ
から約450kmに位置。



外国語学部2年の蟹井里佳さんが、8月5日から2週間の日程で国際ボランティアプロジェクト(国際教育交換協議会【CIEE】主催アメリカ大使館・フランス大使館・ドイツ大使館後援)に参加されました。これは、現地からの限られた情報をもとに、現地まで1人で行き、1人で日本に帰ってくるという自分の力で進めていくプロジェクトです。ボランティアを終えた蟹井さんにお話をうかがいました。

今回のプロジェクトに参加しようと思っ
たきっかけは?また、ボランティア派遣先に
なぜトルコを選ばれたのでしょうか。

蟹井 学生のうちに1人で海外を旅してみ
たかったんです。それに、国際交流センターで紹
介していたこのプロジェクトは世界中の若者と
一緒に一つのことをできるのがとても魅力的
でした。イスラム教の国を見てみたかったのも
トルコを選んだ理由の一つです。

ボランティア内容はどんなものだったの
でしょうか。

蟹井 トルコのサムスン*という都市で花壇
造りをするんです。そこには将来、市民の
ための屋外ホールができるそうです。私其
他にも韓国やフランス、ドイツなど7カ国から
11人の若者がこのプロジェクトに参加していま

このプロジェクトでどんなことが心に残って
いますか。また、今後どう活かしていきたい
とお考えですか。

蟹井 みんなで協力して行った花壇造りの
仕事はもちろんですが、休日にみんなで海へ
出かけたり、日帰り旅行をしたこともよい思
い出です。市長さんの訪問や、歓迎パーティ、
街のテレビ局、新聞の取材もありました。

グループのみんなと世界情勢や母国につい
て話したりもしました。みんな自分の意見

Essay 26

106年前の蓄音器が語る今宵

ますだ よしはる
増田 喜治
(人間健康学部)



蓄音機の収集と音の再生が私の趣味であり研究の対象です。秋の夜長に、一人で蓄音器に耳を傾けていると、悩める心が全て癒されそうな気持ちになります。そんな蓄音器好きの私をさらに音の振動の虜にしたのが、オーストラリアの片田舎の古ぼけた骨董屋で発掘した1902年製のEdison Standard Phonograph^{※1}でした。この蓄音器は90年以上前にAcoustic recording^{※2}によって蝋管に刻まれた音を蘇生させて、私の胸の内に囁きかけてきたのでした。

蓄音器を開発したEdisonの聴覚障害の徴候は1877年に顕著となっていました。前年度にAlexander Graham Bellによって発明された電話の受話器を通して伝わってくる音の大きさを判断するのに、自分の聴力に頼れる状態ではなかったのです。この問題を解決する為に、Edisonは受話器の振動板に針を取り付け音の有無を知ろうと試みしました。自分の指を針先に軽く当てると、電話回線を通して伝達されてきた音声、指先を刺すような痛みとなる事を発見しました。この体験を通して、Edisonは音の振動を紙テープに刻み込んで、録音することが可能であると推理し

たのでした。音声振動の指先の体験が、蓄音機の発明に発展していったのです。

実際に、EdisonとBellは、互いに切磋琢磨して電話と蓄音機をさらに完成度の高い情報機器に変貌させる基礎を形成しました。Edisonは1877年にBellよりも格段優れた好感度の受話器を開発しました。一方、BellはEdisonの錫の箔から蝋に音を彫り込む録音技術を1886年に開発し、蓄音器の音の録音・再生の質的量的向上に貢献しました。

ここで、大変興味深いのは、二人が違った録音方法の用語を使用し、独自の特許を取得したことです。Edisonはindent^{※3}、emboss^{※4}を使い、音を表面に刻むという定義をしました。Bellはengrave^{※5}を使い、音の振動は深く蝋に刻み付けられると定義しました。Bellは振動に対する深い洞察を、彼の家伝と家庭環境の中から自然に学んだのです。と言うのは、Bellの祖父は演劇家であり、話し言葉の教育とリハビリテーションに深く関与してきました。Bellの父も音声の研究に携わり、その時に開発したVisible Speech^{※6}は現在使われているIPA^{※6}に影響を与えています。Bellの母は聴覚障害者で、盲文^{※6}、Bellの妻も聴覚障害者でした。

BellもEdisonも聴覚障害という問題と深く関わり、19世紀後半の情報機器の誕生に貢献したのです。蓄音器の開発の原点が、聴覚障害をどのように逆手にとって、さらに優れた発想をするかを教えてくれます。Edisonは「私には聴力障害があるからこそ、通常の方々より倍音をよく聞き取ることが可能だ」と語り、彼の音の世界の感覚の鋭さを表現しています。EdisonとBellのずば抜けた感性の鋭敏さは、時代を超え



て、以下のように、蓄音器を聞いた現代の若者に語りかけています。

「蓄音機には嘘がない。だから、眼を閉じれば近くに演奏家を感じる事が出来た。最近の音楽は良く聞こえるようにする事に集中しすぎている。技術の進化とは、同時に感性の退化なのかもしれない。」

「初めてそのサウンドを聞いたとき、なにかとても温かいものを感じました。その温かさは同時に歴史を持つていました。まるで私にはその頃の人々の笑顔が感じられるようでした。今ここで私がしているのと同じように、Phonographの前でみんなと、あるいはチューブで聞きながらその音楽に耳を傾けて微笑んでいる人々の笑顔が。100年前に演奏していた人々の音がホーンに吸い込まれて記録され、タイムスリップして2006年の今取り出されて私たちに聞かれているなんてすごくロマンチック」

今宵、蝋管に刻まれた音を聴くと、蓄音器はなお語ることを止めません。『あなたの発する言葉は人の体と心に刻まれているか。あなたの言葉は100年後に再生されて聞かれる言葉か...』蓄音器との会話は夜な夜な続くのです。

※1 通常、phonographはエジソンが最初に開発した蝋管タイプ蓄音器、gramophoneはその後開発されたデスクタイプのもので、現在では用語の区別がなくなりつつあります。
※2 電気的変換なしで音の振動を直接錫の薄い箔や蝋管などに記録する方法
※3 歯(dent)のようなもので刻み付ける:物の表面に、のこぎり歯状の刻みをつける
※4 突き出し(boss)を入れる:表面の模様等を浮かし上げる
※5 彫り込み(grave)を入れる:深く刻み付ける
※6 IPA: International Phonetic Alphabet (国際音声記号)
※7 ラッパの代わりにサウンドボックスに直接チューブ(管)を取り付けて、ヘッドフォンのようにして聞くこと

私の講義日誌



しみず りょうりゅう
清水良郎
担当者
マーケティング担当

vol.15

マーケティング

この4月から名古屋学院大学商学部で教鞭をとり始めましたが、無事、春学期を終え、ほっとしています。一般企業出身の私を、先生方、関係者の皆さんがこころよく迎えてくださったおかげだと感謝しています。

講義では、マーケティング論、マーケティング戦略論を中心に担当いたしました。授業に際してのポイントは、「マーケティングの面白さをわかってもらうこと」、「実際のビジネス情報をおして理論を理解してもらうこと」、「最新の情報を提供すること」の3点に絞りました。細かい文字がズラリと並んでいるお厚い教科書を解説することはやめました。学生諸君に少しでも興味深い講義を考えたからです。マーケティングはビジネスそのものですし、ビジネスは、面白いと思ってい組まない、うまくいかないものです。またマーケティング

グは生き物ですから日々、激しく動いています。生の情報をもとに授業を行うことを重視しました。教科書は昨年出版されたものを選びましたが、私の出身企業や人脈から得たビジネス情報も講義に活用しました。これは生きた教材として、かなり効果的だったと思います。具体的には、トヨタの「プリウス」、小林製菓の「ブルーレット」「サワデー」、花王と資生堂のシャンプーにおけるマーケティング戦略の違い、白鶴酒造のサケバック「まる」の戦略などをテーマに取り上げました。特に、白鶴酒造のサケバックは、私が広告キャンペーンを担当していた商品ですのでリアリティのある講義ができたと思っています。またマーケティングの根幹である基本戦略については、重要事項を書いた特製カードを配り、サイフに入れていつでも学生諸君が見られるように工夫しました。

マーケティングプラン作成課題としては、「お年寄り

向けパソコン」、「紅白歌合戦の活性化」の2つを出題しました。これらについて、製品、流通、広告などを工夫して、販売に結び付けてゆく戦略を受講生に問うたわけですが、先入観を与えるような誘導はしませんでした。学生諸君と一緒に考えていく姿勢を示したかったのです。紅白歌合戦では、受講生から、「24時間放送にする」「演歌に絞る」「勝負を重視して紅白の原点に戻る」など、ユニークなアイデアも出てきました。

春学期終了時に、私の講義に対する評価をアンケート形式で書いてもらったところ、おおむね好感触で、「わかりやすかった」「マーケティングに興味を持てた」「清水先生のオーラを感じます。いけてます」といった回答があり、涙が出るほどうれしかったです。秋学期に向けても心が引き締まります。

さて、その秋学期ですが、マーケティングに加え、広告論、社会事情2を担当します。講義は「ケータイマーケティング」を軸に展開したいと思っています。これは、今、講義しておかねばならない重要なテーマです。ケータイは約9000万人が、24時間、肌身はなさず持つている、課金と個人認証に優れた決定的なメディアです。このケータイの世界がどう動こうとしているのかを学生諸君受講生と二緒に、最新情報を追いかけてながら、考えてみたいと思っています。この半年でもケータイの世界は大きく変わりました。通信のインターネット大融合によって、ワンセグ放送、音楽配信、Eコマース、オークション、ケータイ広告がビッグビジネスを誘発しようとしています。また「スカイプ」という超低価格のモバイル通話ソフトも出現しています。つまり、基本戦略からメディア、流通、広告まで、マーケティングのあらゆる分野での変革を間近に見ることができるようです。実際、ドコモもauも水面下で激しいマーケティング戦略を展開しています。こういった生きた教材でマーケティングの理解がさらに深まるものと信じています。最後になりましたが、実務経験のある教員として、学生諸君を学業だけでなく、さまざまな方面でバックアップしていきたいと思っています。

(商学部)

2006年度 父母懇談会を終えて

今年度の父母懇談会は、9月16日の大会会場を最後に無事終了しました。

残暑厳しいなか、ご参加頂きましたご父母のみなさま、誠にありがとうございました。

今年の開催地は地方会場4ヶ所と大会会場、および広島・松本・福井・沖縄を合わせ計9ヶ所で開催し、506名のご参加を得ました。

懇談会では、大学の近況をご報告させて頂くとともに、ご父母の皆様と大学関係者が膝を交えて、学業の状況や課外活動、学生生活、また就職など将来の進路について、相談や懇談をさせて頂きました。

会場別参加状況

| 9月2日(土) | | 9月16日(土) | |
|---------|-----|-----------|-------------|
| 浜松会場 | 82名 | 大会会場 | 291名 |
| 四日市会場 | 42名 | その他会場 | |
| | | 広島 | 3名 |
| | | 松本 | 8名 |
| | | 福井 | 9名 |
| | | 沖縄 | 2名 |
| 9月9日(土) | | | |
| 金沢会場 | 27名 | | |
| 岐阜会場 | 42名 | | |
| | | 合計 | 506名 |

大会会場では来年開設の名古屋キャンパスについて学長から詳しい説明をさせて頂きました。

ご父母の皆様からも、名古屋キャンパス移転に関し「下宿は移らなければならぬか」「クラブ活動はどうなるのか」「瀬戸キャンパスのスクールバスは不便になるのではないのか」などの質問が多数寄せられました。

皆様からのご要望などにつきましてはできる限り努力する所存です。

来年は名古屋キャンパスで父母懇談会の開催を予定しています。本年にも増して多数のご参加を希望しております。

2006年度学部長表彰 成績優秀者100名を表彰

前年度1年間の学業成績優秀者を表彰する学部長表彰が6月28日(水)にチャペルにおいて挙行されました。
表彰者のみなさん、おめでとうございます。



経済学部

経済学科

4年生

浅野 政夫 北村 通彦 後藤 洋一 作石 知史 佐藤 純
滝川 昌明 竹内 啓祐 竹野 和正 田中 隆 羽根田 紋

3年生

尹 日奉 大橋 成仁 川口真有美 住田 一浩 関 昌平
長尾 佳祐 日置 正康 松田 敬佳 山本 健司

2年生

瀧美 裕斗 佐藤茉莉生 清水 勇志 高田 悠馬 中江 宏規
服部 未希 蜂須賀佑樹 水野 仁士 森 大祐

政策学科

4年生

岡田 直幸 古謝 静香 佐々木 優
杉村 啓太 中安佐央里

3年生

天野 翔 金森 直道 西尾 あさ佳
林 晃央 平岩 英貴 福田 祐輔

2年生

岡本 浩暢 田中 優輝 中島 寛幸
西脇大二郎 平井 洋司 古田 寿大

商学部

商学科

4年生

青山裕次郎 阿部 真 杉山 裕明 高島 洋 中浜 大介
水谷 祐介

3年生

伊村 栄倫 楠 康弘 黄 鳴宇 塩沢加奈子 鈴木 智江
戸田 ゆかり 長瀬 裕紀 万 華群

2年生

加藤菜津美 古賀 貴志 佐藤 圭祐 柴田 晋平 田所 裕貴
山内雄太郎

情報BC学科

4年生

小嶋 喜博 柴山 智紀 西尾 勇人
小林 望央

3年生

兼岩 潤平 澤村 まいみ 原川 侑子
安田 暁彦 吉村 拓也

2年生

伊藤真由子 熊谷 学 藤田 唯
森 大樹

外国語学部

英米語学科

4年生

小林 博樹 高部 薫 陳 苑箏 中村 文南
山口 隆幸

3年生

岡部 紗代 中谷 友美 福井瑠美子 藤井 美織
豊 興花

2年生

加藤万梨子 河合 匠 川見 明香 志村 拓瑠

中国語学科

4年生

本間裕依子 稲葉 達之
3年生

3年生

石倉妃加里 井上 智晶
2年生

2年生

畑堀 沙織 水野 里咲

国際文化協力学科

2年生

安藝 知恵 清岡 春菜

2006年度 父母会総会開催

2006年度父母会総会が、6月17日(土)本学希望館において開催され、多くのご父母が参加されました。総会では、田口利寿父母会会長の開会挨拶、小嶋博学長の挨拶の後、第1号議案「2005年度決算に関すること」、第2号議案「2006年度会長および役員改選に関すること」、第3号議案「2006年度予算に関すること」を審議し、すべての議案が承認されました。なお、役員改選により、岩田正男氏を新会長に選出しました。議案審議後、各学部長からの学部現況説明の後、総会を閉会し、思星館第2食堂において、教職員との懇親会を開催しました。懇親会後は、教務学生生活キャリア(就職)・留学等の相談コーナーにおいて熱心に相談する姿が見られました。

なお、「2005年度決算」、「2006年度予算」については、下記をご覧ください。

● 父母会費について

学費納入時に父母会年会費、特別会費の納入をお願いしております。父母会活動にご理解をいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

● 年会費

すべての在学生1人当たり

4,000円/年

● 特別会費

4年次生1人当たり

5,000円

※父母会卒業記念事業費に充当

2006年度 名古屋学院大学父母会予算書

| 2006年度 予算 | | | | |
|-------------------------|------------|------------|-----------|----------------------|
| 2006年4月1日から2007年3月31日まで | | | | |
| (単位 円) | | | | |
| 収入の部 | | | | |
| 科目 | 予算 | 前年度予算額 | 差異 | 摘要 |
| 会費 | 16,612,000 | 16,160,000 | 452,000 | (全学部生) @4,000×4,153名 |
| 特別会費 | 4,435,000 | 4,835,000 | △400,000 | (4年次生) @5,000×887名 |
| 受取利息 | 500 | 500 | 0 | 預金利息 |
| 前年度未収入金収入 | 0 | 396,000 | △396,000 | |
| 前年度繰越金 | 23,398,079 | 21,572,118 | 1,825,961 | 前年度預金残高 |
| 収入の部合計 | 44,445,579 | 42,963,618 | 1,481,961 | |

| 支出の部 | | | | |
|------------|--------------|--------------|-------------|-----------------------|
| 科目 | 予算 | 前年度予算額 | 差異 | 摘要 |
| 学生教育活動費 | [14,650,000] | [14,650,000] | [0] | |
| 学生行事補助 | 4,500,000※1 | 4,500,000 | 0 | |
| 課外活動補助 | 9,650,000※2 | 9,650,000 | 0 | |
| 学生学習補助 | 500,000 | 500,000 | 0 | 資格取得奨励金 |
| 運営費 | [4,900,000] | [4,900,000] | [0] | |
| 会議費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 役員会、総会 |
| 事務用品費 | 100,000 | 100,000 | 0 | コピー用紙、コピー機リース料他 |
| 備品費 | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| 印刷費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 総会開催案内関係 |
| 郵便費 | 2,250,000 | 2,250,000 | 0 | 役員会・総会開催案内、父母宛成績 |
| 慶弔費 | 400,000 | 400,000 | 0 | 学生・教職員対象 |
| 雑費 | 1,100,000 | 1,100,000 | 0 | 総会記念品代他 |
| 卒業記念事業費積立金 | [4,435,000] | [4,835,000] | [△400,000] | 名古屋キャンパス記念事業(05～07積立) |
| 予備費 | [2,000,000] | [2,000,000] | [0] | |
| 前期末未払金支払支出 | [20,000] | [88,000] | [△68,000] | 弔慰金 |
| 次年度繰越金 | [18,440,579] | [16,490,618] | [1,949,961] | |
| 支出の部合計 | 44,445,579 | 42,963,618 | 1,481,961 | |

| ※1 学生行事補助 | | ※2 課外活動補助 | |
|-----------------|-----------|------------|-----------|
| 体育会フレッシュマンキャンプ | 1,000,000 | 10クラブ特別補助 | 4,000,000 |
| 体育会/文化会リーダーズ研修会 | 1,000,000 | クラブ備品援助 | 2,000,000 |
| 大学祭補助 | 2,500,000 | 教職員指導補助 | 1,500,000 |
| 合計 | 4,500,000 | クラブ遠征補助 | 2,000,000 |
| | | テーピング講習会補助 | 150,000 |
| | | 合計 | 9,650,000 |

2005年度 名古屋学院大学同窓会決算書

| 収支決算書 | | 貸借対照表 | |
|----------------------|------------|------------|------------|
| 2005年4月1日～2006年3月31日 | | 2006年3月31日 | |
| (単位 円) | | (単位 円) | |
| 収入の部 | | 資産の部 | |
| 前期繰越金 | 22,663,632 | 一般積立引当特定預金 | 15,000,000 |
| 会費収入 | 19,202,000 | 普通・定期預金 | 20,737,187 |
| 名簿作成引当金取崩し | 20,000,000 | 郵便貯金 | 4,388 |
| 受取利息 | 3,627 | 郵便振替 | 646,515 |
| 雑収入 | 300 | 現金 | 74,613 |
| 合計 | 61,869,559 | 合計 | 36,462,703 |
| 支出の部 | | 負債の部 | |
| 人件費 | 1,190,310 | 負債の部 計 | 0 |
| 通勤手当 | 108,940 | 正味財産の部 | |
| 交通旅費 | 5,500 | 一般積立 | 15,000,000 |
| 通信費 | 243,842 | 預貯金 | 21,462,703 |
| 事務用品費 | 48,455 | 正味財産の部計 | 36,462,703 |
| 什器備品費 | 0 | 合計 | 36,462,703 |
| 慶弔費 | 0 | | |
| 交際接待費 | 110,000 | | |
| 会議費 | 453,864 | | |
| 卒業記念品費 | 2,406,068 | | |
| 学生活動補助費 | 2,954,356 | | |
| 広報活動費 | 4,679,981 | | |
| 情報活動費 | 651,210 | | |
| 事業費 | 2,355,535 | | |
| 支部活動費 | 181,285 | | |
| 雑費 | 17,510 | | |
| 一般積立金 | 5,000,000 | | |
| チャペル建設寄付金 | 20,000,000 | | |
| 予備費 | 0 | | |
| 支出合計 | 40,406,856 | | |
| 次期繰越金 | 21,462,703 | | |
| 合計 | 61,869,559 | | |



2005年度 同窓会決算書

2005年度 名古屋学院大学父母会決算書

| 収支決算書 | | | | |
|-------------------------|------------|------------|---------|--------------|
| 2005年4月1日から2006年3月31日まで | | | | |
| (単位 円) | | | | |
| 収入の部 | | | | |
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 | 摘要 |
| 会費 | 16,160,000 | 15,940,000 | 220,000 | @4,000×3,985 |
| 特別会費 | 4,835,000 | 4,710,000 | 125,000 | @5,000×942 |
| 受取利息 | 500 | 935 | △435 | |
| 前期末未収入金収入 | 396,000 | 396,000 | 0 | 会費99名分 |
| 前年度繰越金 | 21,572,118 | 21,572,118 | 0 | |
| 収入の部合計 | 42,963,618 | 42,619,053 | 344,565 | |

| 支出の部 | | | | |
|------------|--------------|--------------|--------------|---------------------|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 | 摘要 |
| 学生教育活動費 | [14,650,000] | [11,750,879] | [2,899,121] | |
| 学生行事補助 | 4,500,000 | 3,960,540※1 | 539,460 | |
| 課外活動補助 | 9,650,000 | 7,605,339※2 | 2,044,661 | |
| 学生学習補助 | 500,000 | 185,000※3 | 315,000 | 資格取得奨励金 |
| 運営費 | [4,900,000] | [2,692,095] | [2,207,905] | |
| 会議費 | 500,000 | 386,668 | 113,332 | 役員会、総会 |
| 事務用品費 | 100,000 | 74,592 | 25,408 | メールシール、カートリッジ |
| 備品費 | 400,000 | 0 | 400,000 | |
| 印刷費 | 150,000 | 127,533 | 22,467 | 総会開催案内 |
| 郵便費 | 2,250,000 | 1,493,500※4 | 756,500 | 総会案内、成績送付 |
| 慶弔費 | 400,000 | 170,000 | 230,000 | 学生・教職員 |
| 雑費 | 1,100,000 | 439,802 | 660,198 | 振込手数料等 |
| 卒業記念事業費積立金 | [4,835,000] | [4,710,000] | [125,000] | 名古屋キャンパス記念事業(3年間積立) |
| 予備費 | [2,000,000] | [0] | [2,000,000] | |
| 前期末未払金支払支出 | [88,000] | [88,000] | [0] | |
| 前期末未払金 | [0] | [△20,000] | [20,000] | 弔慰金 |
| 次年度繰越金 | [16,490,618] | [23,398,079] | [△6,907,461] | |
| 支出の部合計 | 42,963,618 | 42,619,053 | 344,565 | |

| ※1 学生行事補助 | | ※2 課外活動補助 | |
|-----------------|-----------|------------|-----------|
| 体育会フレッシュマンキャンプ | 453,132 | 10クラブ特別補助 | 2,800,000 |
| 体育会/文化会リーダーズ研修会 | | クラブ備品補助 | 1,670,900 |
| 文化会リーダーズ研修会 | 1,110,786 | 教職員指導補助 | 1,487,639 |
| 大学祭補助 | 2,396,622 | クラブ遠征補助 | 1,496,800 |
| 合計 | 3,960,540 | テーピング講習会補助 | 150,000 |
| | | 合計 | 7,605,339 |

| ※3 学生学習補助 | |
|---|---------|
| 図書券5千円×10件 | 50,000 |
| TOEIC(英米600・中国540・経済・商470以上)・宅建 | |
| 図書券3千円×45件 | 135,000 |
| ホームヘルパー2級、日商簿記2・3級、色彩検定2級、販売士2級、秘書検定2級、旅行業務取扱管理者(国内)、ビジネス能力2級 | |
| 合計 | 185,000 |

| ※4 郵便費 | |
|------------|-----------|
| 父母宛成績封筒・送付 | 543,660 |
| コスモラマ封筒・発送 | 416,705 |
| 総会案内・発送 | 335,660 |
| 大学祭案内はがき | 196,950 |
| その他 | 525 |
| 合計 | 1,493,500 |

貸借対照表

| 貸借対照表 | | | | |
|------------------|------------|------------|------------|--|
| 2006年3月31日 | | | | |
| (単位 円) | | | | |
| 資産の部 | | | | |
| 科目 | 2005年度 | 2004年度 | 差異 | |
| 名古屋キャンパス記念事業引当預金 | 4,710,000 | 0 | 4,710,000 | |
| 定期預金 | 18,000,000 | 10,000,000 | 8,000,000 | |
| 普通預金 | 5,398,079 | 11,572,118 | △6,174,039 | |
| 未収入金 | 0 | 396,000 | △396,000 | |
| 合計 | 28,108,079 | 21,968,118 | 6,139,961 | |
| 負債の部 | | | | |
| 科目 | 2005年度 | 2004年度 | 差異 | |
| 期末未払金 | 20,000 | 88,000 | △68,000 | |
| 計 | 20,000 | 88,000 | △68,000 | |
| 正味財産の部 | | | | |
| 科目 | 2005年度 | 2004年度 | 差異 | |
| 名古屋キャンパス記念事業積立金 | 4,710,000 | 0 | 4,710,000 | |
| 支払資金見返正味財産 | 23,378,079 | 21,484,118 | 1,893,961 | |
| 徴収不能引当金 | 0 | 396,000 | △396,000 | |
| 計 | 28,088,079 | 21,880,118 | 6,207,961 | |
| 合計 | 28,108,079 | 21,968,118 | 6,139,961 | |

学校法人名古屋学院大学の2005年度決算および2005年度事業報告は、2006年5月24日理事会で承認されましたので概要をお知らせいたします。

なお、2005年度事業報告および2005年度計算書類は、本学ホームページに掲載されておりますので、ご参照ください。

学校法人会計は、経営の状況を見る「消費収支計算書」、資金繰りの状況を見る「資金収支計算書」および、財政の状況を見る「貸借対照表」により表示されています。この3つの計算書は相互に密接な関係があり、経営状態の良し悪しは、消費収支が均衡状態（消費収入≧消費支出）であるか否かが一つの判断基準になります。また、収入≧支出であれば資金繰りに窮することはないこととなり、それら経営状態の結果は財政の状態を表す貸借対照表上の財務比率や正味財産に影響を与えることとなります。

本学は社会のニーズに応えるため、本年度の新規事業として、人間健康学部人間健康学科（定員120人）、リハビリテーション学科（定員80人）【2006年4月開設】を申請し、認可となりました。これにより、本学の学部学科構成は4学部9学科となり、学びの領域が大幅に拡がりました。期首学生総数は、4,219名（学部4,040名 大学院179名）で、うち新入生は1,113名（学部1,047名 大学院66名）を迎えました。卒業生は928名（学部863名 大学院65名）を送り出し、その結果、卒業生累計は34,917名（学部34,292名 大学院625名）となっています。

◆資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入、支出の内容、及び支払資金のてん末を明らかにしています。資金収支計算書には借入金収入、前受金収入等が含まれ、また、施設・設備関係支出には資産の取得額が計上されます。

'05年度資金収支の決算規模は12,578,172千円となりました。また資金繰りの状態を見る次年度繰越支払資金は4,979,221千円となり、前年度比で803,671千円の増額となりました。

◆消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の帰属収入合計（借入金等収入は除く）から基本組入額を控除した「消費収入」と当該年度に消費する「消費支出」を比べて当年度の「収支差額」を算出する構造となっています。これにより当年度の収支の均衡や経営状態の健全さを判断することができます。また、基本組入額は当年度ないしは将来の施設・設備取得資金ですが、同時に継続的な教育研究活動を確保するため、及び計画的な自己資金の充実をはかるため別途留保し、消費収入、消費支出に反映させないことになっています。

'05年度消費収入の部は、帰属収入が前年度比で267,678千円の増収となっています。増収の主な要因は補助金、寄付金、手数料収入等によるものです。また第1号基本金に名古屋キャンパス校舎等建設資金を含めて1,704,828千円を組入れた結果、収支差額が864,066千円の支出超過となっています。

◆貸借対照表

貸借対照表は、期末における大学の資産額を示し、その財源が負債（借入金等）、基本金（自己資金より調達した額）、及び消費収支差額からなっていることを表わすものです。

資産の部合計は21,654,158千円で前年度末比714,745千円の増加、負債の部合計は2,584,109千円で前年度末比94,478千円の増加となりました。

基本金の部合計は、前年度末比1,484,334千円増加しており、過去5か年中、最も高い組入額となっています。

結果、本法人の'05年度末正味財産（資産の部合計-負債の部合計）は、19,070,048千円で、前年度末正味財産18,449,781千円に対して620,267千円の増加となりました。

2005（平成17）年度 決算総括表

●資金収支計算書

| 収入の部 | | '05年度決算額 |
|-----------|--|-------------|
| 学生納付金収入 | | 4,226,162 |
| 手数料収入 | | 120,173 |
| 寄付金収入 | | 65,886 |
| 補助金収入 | | 473,491 |
| 資産運用収入 | | 54,998 |
| 資産売却収入 | | 72,066 |
| 事業収入 | | 13,492 |
| 雑収入 | | 181,734 |
| 借入金等収入 | | 0 |
| 前受金収入 | | 997,305 |
| その他の収入 | | 3,237,279 |
| 資金収入調整勘定 | | △ 1,039,964 |
| 前年度繰越支払資金 | | 4,175,550 |
| 収入の部合計 | | 12,578,172 |
| 支出の部 | | '05年度決算額 |
| 人件費支出 | | 2,697,070 |
| 教育研究経費支出 | | 1,151,809 |
| 管理経費支出 | | 408,705 |
| 借入金等利息支出 | | 0 |
| 借入金等返済支出 | | 0 |
| 施設関係支出 | | 1,798,752 |
| 設備関係支出 | | 117,703 |
| 資産運用支出 | | 1,382,218 |
| その他の支出 | | 444,865 |
| 予備費支出 | | 0 |
| 資金支出調整勘定 | | △ 402,171 |
| 次年度繰越支払資金 | | 4,979,221 |
| 支出の部合計 | | 12,578,172 |

●消費収支計算書

| 消費収入の部 | | '05年度決算額 |
|--------------|--|-------------|
| 学生納付金 | | 4,226,162 |
| 手数料 | | 120,173 |
| 寄付金 | | 67,805 |
| 補助金 | | 473,491 |
| 資産運用収入 | | 54,998 |
| 資産売却差額 | | 57,836 |
| 事業収入 | | 13,492 |
| 雑収入 | | 183,134 |
| 帰属収入合計 | | 5,197,091 |
| 基本組入額合計 | | △ 1,484,333 |
| 消費収入の部合計 | | 3,712,758 |
| 消費支出の部 | | '05年度決算額 |
| 人件費 | | 2,687,723 |
| （内退職給与引当額） | | (223,302) |
| 教育研究経費 | | 1,444,457 |
| （内減価償却額） | | (292,648) |
| 管理経費 | | 443,372 |
| （内減価償却額） | | (34,667) |
| 借入金等利息 | | 0 |
| 資産処分差額 | | 1,272 |
| 予備費 | | 0 |
| 消費支出の部合計 | | 4,576,824 |
| 当年度消費支出超過額 | | △ 864,066 |
| 前年度繰越消費支出超過額 | | △ 420,108 |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | | △ 1,284,174 |

●貸借対照表

| 科 目 | 資産の部 | | |
|----------------------------|-------------|------------|-------------|
| | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 固定資産 | 16,532,493 | 16,605,569 | △ 73,076 |
| 土地 | 2,021,932 | 2,036,162 | △ 14,230 |
| 建物 | 3,472,169 | 3,626,623 | △ 154,454 |
| 構築物 | 436,050 | 487,921 | △ 51,871 |
| 機器備品 | 246,785 | 249,217 | △ 2,432 |
| 図書 | 2,017,468 | 1,958,184 | 59,284 |
| 車両 | 1,709 | 7,150 | △ 5,441 |
| 建設仮勘定 | 1,746,100 | 0 | 1,746,100 |
| その他の固定資産 | 6,590,280 | 8,240,312 | △ 1,650,032 |
| 流動資産 | 5,121,665 | 4,333,844 | 787,821 |
| 現金 | 4,979,221 | 4,175,550 | 803,671 |
| その他の流動資産 | 142,444 | 158,294 | △ 15,850 |
| 資産の部合計 | 21,654,158 | 20,939,413 | 714,745 |
| 負債の部 | | | |
| 固定負債 | 1,137,904 | 1,147,252 | △ 9,348 |
| 長期借入金 | 0 | 0 | 0 |
| 学校債 | 0 | 0 | 0 |
| 退職給与引当金 | 1,137,904 | 1,147,252 | △ 9,348 |
| 流動負債 | 1,446,205 | 1,342,379 | 103,826 |
| 短期借入金 | 0 | 0 | 0 |
| 未払金 | 396,356 | 377,975 | 18,381 |
| その他の流動負債 | 1,049,849 | 964,404 | 85,445 |
| 負債の部合計 | 2,584,109 | 2,489,631 | 94,478 |
| 基本金の部 | | | |
| 基本金 | 20,354,223 | 18,869,890 | 1,484,333 |
| 基本金の部合計 | 20,354,223 | 18,869,890 | 1,484,333 |
| 消費収支差額の部 | | | |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | △ 1,284,174 | △ 420,108 | △ 864,066 |
| 消費収支差額の部合計 | △ 1,284,174 | △ 420,108 | △ 864,066 |
| 負債の部・基本金の部及 び消費収支差額の部合計 | 21,654,158 | 20,939,413 | 714,745 |

(単位：千円)

2005年度決算財務比率

●消費収支計算書関係 財務比率推移

| No. | 比率名 | 算式 | 00年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 | 04年度 | 05年度 | 高低評価 | 私大平均 | 財務比率の意味 |
|-----|----------|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| 1 | 学生納付金比率 | 学生納付金 / 帰属収入 | 86.2 | 88.1 | 86.5 | 85.2 | 85.6 | 81.3 | △ | 74.4 | 学生納付金は帰属収入のなかで最大の比重を占めるものであり、各学校法人の自力財源の確保という意味では、高水準で安定的に推移するのが好ましい。 |
| 2 | 基本組入率 | 基本組入額 / 帰属収入 | 17.2 | 12.0 | 5.7 | 5.2 | 25.8 | 28.6 | △ | 15.2 | 大学の諸活動に不可欠な資産充実のためには、基本組入額が大きく、またこの比率が高いことが望ましい。自己資金充実のためには、この比率が高いほど好ましい。 |
| 3 | 人件費比率 | 人件費 / 帰属収入 | 49.7 | 48.7 | 57.0 | 54.4 | 52.4 | 51.7 | ▼ | 52.2 | 人件費は消費支出のうち最大の部分を占めており、この比重が高いと消費支出全体を膨張させ、支出超過を招く場合もある。低いほど好ましい。 |
| 4 | 教育研究経費比率 | 教育研究経費 / 帰属収入 | 28.9 | 27.6 | 28.2 | 27.0 | 29.2 | 27.8 | △ | 28.3 | 教育研究経費の帰属収入に対する割合である。教育研究活動の維持・発展のためには、消費収支を圧迫しない限り、この比率は、高いほど好ましい。 |
| 5 | 管理経費比率 | 管理経費 / 帰属収入 | 5.0 | 5.0 | 6.6 | 7.4 | 7.6 | 8.5 | ▼ | 8.5 | 管理経費は教育研究活動に支出された以外の経費である。学校法人の運営のため、ある程度の比率は必要だが、低いほど好ましい。 |

●貸借対照表関係 財務比率推移

| No. | 比率名 | 算式 | 00年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 | 04年度 | 05年度 | 高低評価 | 私大平均 | 財務比率の意味 |
|-----|----------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--|
| 1 | 固定資産構成比率 | 固定資産 / 総資産 | 81.6 | 80.8 | 80.7 | 80.7 | 79.3 | 76.3 | ▼ | 84.6 | 有形固定資産とその他の固定資産を合計した固定資産の総資産に占める構成割合である。この比率は流動資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標となる。資産構成の割合は、各学校法人毎に多様であるため、固定資産の内訳科目毎に分析する必要がある。低い値が良い。 |
| 2 | 固定負債構成比率 | 固定負債 / 総資産 | 5.1 | 4.8 | 6.2 | 6.1 | 5.5 | 5.3 | ▼ | 8.1 | 負債構成のバランス及びそれぞれの比重を評価する指標。固定負債の内容は、長期借入金、学校債、退職給与引当金等であり長期に亘って償還又は支払いを要する債務である。高い値は好ましくない。 |
| 3 | 自己資金構成比率 | 自己資金 / 総資産 | 86.3 | 88.3 | 87.1 | 87.6 | 88.1 | 88.1 | △ | 85.9 | 基本金と消費収支差額を合計した自己資金の総資産に占める構成割合である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を超える他人資金が自己資金を上回っていることを示している。高い値が良い。 |
| 4 | 固定比率 | 固定資産 / 自己資金 | 94.5 | 91.4 | 92.7 | 92.2 | 90.0 | 86.7 | ▼ | 98.5 | 固定資産がどの程度自己資金で賄われているかを判断する指標。100%未満であれば、固定資産は自己資金で賄われておらず、100%以上であれば他人資金にも依存していることを示す。低い値が良い。 |
| 5 | 負債比率 | 総負債 / 自己資金 | 15.8 | 13.2 | 14.8 | 14.2 | 13.5 | 13.6 | ▼ | 16.4 | 他人資金である負債総額が自己資金を上回っていないかどうかを見る指標で、100%以下で、低い値ほど望ましい。 |
| 6 | 流動比率 | 流動資産 / 流動負債 | 214.6 | 281.1 | 287.0 | 303.1 | 322.8 | 354.1 | △ | 257.7 | 短期的に支払を要する流動負債に対し、現金預金又は、短期的に現金化することのできる資産の割合がどの程度かという資産流動性即ち支払能力を判断する指標。150%~200%以上が望ましい。 |
| 7 | 総負債比率 | 総負債 / 総資産 | 13.7 | 11.7 | 12.9 | 12.4 | 11.9 | 11.9 | ▼ | 14.1 | 総資産に対する他人資金の比重を評価する関係比率である。この比率は低いほど良く、50%を超える他人資金が自己資金を上回っていることとなり、さらに100%を超えると負債総額が資金総額を上回る状態、いわゆる債務超過となる。 |

(注) 1.私大平均は、日本私立学校振興・共済事業団「平成17年度版 今日私学財政」の大学法人（医療系法人を除く）の平均値 2.高低評価も同資料による △高い値が良い ▼低い値が良い 3.総資産＝負債＋基本金＋消費収支差額 4.自己資金＝基本金＋消費収支差額

◆財務情報の公開について

2005年度決算関係書類（財産目録・貸借対照表・収支計算書・監事及び独立監査法人による監査報告書・事業報告書）及び2006年度予算書類・事業計画書は、財務課にて縦覧できます。

教育振興資金・名古屋キャンパスチャペル建設資金

募金の御礼とご報告

ご寄付いただきました方々につきまして、感謝をもってご報告申し上げます。今後とも本学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。
募金額ごとに寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきます)をまとめさせていただきました。
なお、ご芳名の後の()内は累計額を表示させていただきました。

教育振興資金 (2006年4月1日～2006年9月30日受付分)

1件 100,000円

役員

100,000円 伊藤 信義(300,000円)

チャペル建設資金 (2006年4月1日～2006年9月30日受付分)

148件 12,587,230円(累計739件 87,160,000円)

父母会関係 81件 1,420,000円(累計350件 7,505,000円)

| | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--|
| 100,000円 | 岩田 正男 | 大橋 健二 | 河村 満 | 山内 隆史 | | | | | | |
| 30,000円 | 青山 照彦 | 安藤 均 | 石原 哲 | 伊藤 茂生 | 宇佐美 勲 | 高橋チズ子 | 竹内 俊元 | 長阪 健 | 西原 博幸 | |
| | 濱田 一宏 | 藤本 和久 | 山下 克彦 | | | | | | | |
| 20,000円 | 力丸智恵子 | | | | | | | | | |
| 10,000円 | 有村 宏 | 池戸 正之 | 石上 良秀 | 伊藤 禎朗 | 伊藤 伸治 | 井上 良一 | 岩本 規光 | 遠藤 武泰 | 岸上幸太郎 | |
| | 木村 啓三 | 木村 孝之 | 木村 愛誠 | 小池 毅 | 高阪 正 | 小島 久幸 | 榊原 秀樹 | 貞永 暉彦 | 島田 清 | |
| | 城者百合子 | 白木 悟 | 進士 政博 | 杉浦 弘光 | 杉山 勉 | 杉山 恒夫 | 鈴木 孝 | 鈴木 敏彦 | 須田三枝子 | |
| | 清野 昭一 | 関塚 勉 | 高橋 峰雄 | 武村 敏之 | 谷口 明芳 | 谷中 修二 | 坪井 善樹 | 鳥居 利通 | 長井 弘之 | |
| | 中根 忠明 | 中村 初生 | 中村 正男 | 西尾 育扶 | 仁科 秀春 | 西村 正利 | 西脇 ひろ子 | 新田 哲也 | 野村 雅也 | |
| | 葉狩加代美 | 原 啓高 | 原崎 孝 | 平子 伸 | 平子 守人 | 平塚 英昭 | 深津 勝幸 | 古奥 俊男 | 古橋富士雄 | |
| | 古橋 勝 | 星野 博 | 牧 靖行 | 松井 修二 | 三代 敏之 | 三輪 亨 | 村井 希吉 | 山田 俊克 | 山田 典夫 | |
| | 和久田政明 | | | | | | | | | |

卒業生関係 12件 470,000円(累計155件 5,992,100円)

| | | | | |
|----------|-----------------|-------|-------|--|
| 100,000円 | 伊藤 暁 | 寺尾 孝司 | | |
| 50,000円 | 林 正樹 | | | |
| 40,000円 | 生駒 豊作(150,000円) | | | |
| 30,000円 | 飯田 慎也 | 鈴木 章 | 二之部陽一 | |
| 20,000円 | 石井 久行 | | | |
| 10,000円 | 大平 恵則 | 田口 幹夫 | | |

理事・評議員・監事(卒業生・教職員を除く) 2件 300,000円(累計12件 4,470,000円)

200,000円 伊藤 信義(1,200,000円)
100,000円 大石 清夫

教職員 31件 6,147,230円(累計128件 25,497,230円)

| | | | | | | | | | |
|------------|-----------------|----------------|-----------------|--------|-----------------|-------|-----------------|--|--|
| 1,000,000円 | 木船 久雄 | | | | | | | | |
| 400,000円 | 梶田 建夫 | 岸田 賢次 | 酒井 凌三(800,000円) | 新熊 清 | 十名 直喜 | | | | |
| 300,000円 | 児島 完二 | 小嶋 博(700,000円) | | | | | | | |
| 250,000円 | 赤楚 治之 | | | | | | | | |
| 200,000円 | 飯田 重美(600,000円) | | 石川 輝海(400,000円) | 谷口 篤 | 程 鵬 | 湯浅 康正 | 横山 輝久雄 | | |
| 100,000円 | 岡本 孝一(300,000円) | | 小池 勝子 | 佐々木みゆき | 出口 博也(120,000円) | 奈良 章 | 葛井 義憲(500,000円) | | |
| | 藤田 行政(300,000円) | | | | | | | | |
| 57,230円 | 大倉 晴男(77,230円) | | | | | | | | |
| 50,000円 | 阿部 太郎(100,000円) | | 加藤つた江 | 飯谷 篤子 | 小出八州男 | 柴田 安祝 | 杉山 晃一 | | |
| 30,000円 | 山田 隆 | | | | | | | | |
| 10,000円 | 大澤 史伸 | | | | | | | | |

その他 10件 170,000円(累計27件 20,845,670円)

| | | | | | | | | | |
|---------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|--|--|
| 50,000円 | 伊藤 誓悟 | | | | | | | | |
| 30,000円 | 道家 基彰 | | | | | | | | |
| 20,000円 | 高木 治之 | | | | | | | | |
| 10,000円 | 中島 経年(20,000円) | 中山浩一郎 | 成瀬 拓諭 | 山口 智史 | 山田 恵介 | 鷲尾 惣平 | 瀬戸サッカースクール | | |

企業 12件 4,080,000円(累計67件 22,850,000円)

最終報告で一括掲載させていただきます

名古屋キャンパス「チャペル」建設資金募金のお願いについて

2006年9月末現在のチャペル建設資金の募金額は、ご報告のとおり、未だ募金目標額1億円に達していません。
在学生のご父母の皆様には心苦しいお願いですが、新キャンパスにも建学の精神の象徴であるチャペルを建設するため、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

所得税法では、新1年生の方の募金につきましては、2006年末までは寄付金の税制優遇制度の対象外となります。税制の優遇措置をご利用の場合は、2007年1月以降のご入金をお願いいたします。なお、税制上の優遇措置は寄付金の年額が5,000円を超えた金額について、その年の課税所得から控除されます。

募金は任意でお願いするものですが、本学を象徴する建物の建設費用でありますので、別添振込用紙でご協力頂きたく重ねてお願い申し上げます。

なお、ご協力頂いた方々のご芳名・金額はCOSMORAMAの紙面にてご報告させていただきます。

掲載をご辞退される方は、ご面倒ですがその旨募金事務局までお知らせください。

特色GP選定記念シンポジウム を開催

2006年度文部科学省 特色ある
大学教育プログラム(特色GP)に本学の
「ITによる経済学部教育の標準化と
質保証」が選定されました。これを記
念して左記のとおりシンポジウムを開催
いたします。みなさま奮ってご参加くだ
さい。



2006年度文部科学省特色GP選定記念 「教育の情報化シンポジウム」

- 【日時】 12月15日(金) 13:30~16:30
<13:00開場/13:30開演>
- 【会場】 名古屋ガーデンパレス3階 栄の間
- 【定員】 150名<参加無料>

- 【第1部】 講演「大学教育とIT活用」
- 【第2部】 パネルディスカッション「教育とIT活用の将来」

【お問合せ先】 総合政策部 TEL:0561-42-0317

チャペル建設資金の募金の お願いについて

名古屋キャンパスでは「チャペル」を建
設中です。在学生のご父母のみならず
は別頁記載のとおりご募金を頂戴して
おりますが、未だ募金目標額に達して
おりません。厳しい経済情勢のもとでの
募金のお願いで恐縮に存じますが、本学
の象徴である「チャペル」建設にご支援助
りたくお願い申し上げます。募金して
頂ける場合は同封の振込取扱票にて郵
便局からお振込みください。なお、この
募金は任意でお願いするものです。
募金にご協力頂いた方々のご氏名・金
額を次号以降のコズモラマの紙面にてご
報告させて頂きます。なお、コズモラマへ
の掲載をご辞退される方はご面倒です
が募金事務局までお知らせください。



クラブ活動報告

10月までの今シーズンの戦績の一部を
お知らせいたします(シーズン途中のため
お伝えしきれないクラブもあります)。日々
の練習の成果を存分に発揮したすばら
しい結果です。ますますの活躍を期待し
ております。

| クラブ名 | 大会名 | 種目 | 順位 | 氏名 | 学科 |
|-------------------|---------------------|-----------|-------|--------|----------|
| ボクシング部 | 第45回中部学生ボクシング選手権大会 | フェザー級 | 優勝 | 万野 隆 | 経済学部3年 |
| | | ライト級 | 2位 | 西川 宣伸 | 経済学部2年 |
| | | ライトフライ級 | 優勝 | 岡本 陽太 | 経済学部3年 |
| スキー部 | 第51回中部日本学生スキー選手権大会 | 男子大回転 | 3位 | 柴田 勇紀 | 経済学部2年 |
| | | クロスカントリース | 2位 | 川地 晃治 | 商学部2年 |
| | 全日本学生スキー技術選手権大会 | 男子個人 | 2位 | 柴田 勇紀 | 経済学部2年 |
| 日本拳法部 | 第46回中部日本学生拳法選手権大会 | 女子の部 | 1位 | 浅谷 真希 | 商学部4年 |
| | | 女子の部 | 2位 | 渡辺 智子 | 商学部1年 |
| | | 女子の部 | 4位 | 本藤 美貴 | 商学部2年 |
| | 全日本拳法総合選手権大会 | 女子の部 | 1位 | 浅谷 真希 | 商学部4年 |
| 馬術部 | 第42回中部学生馬術女子選手権大会 | | 優勝 | 岡村 奈緒 | 人間健康学部1年 |
| | 第41回中部学生自馬競技大会 | 中障害飛超 | 優勝 | 岡村 奈緒 | 人間健康学部1年 |
| | | 総合馬術 | 5位 | 岡村 奈緒 | 人間健康学部1年 |
| | | 総合馬術 | 6位 | 水谷 将也 | 商学部1年 |
| 全日本ジュニア総合馬術大会2006 | ノービスクラス | 1位 | 村井 康式 | 経済学部4年 | |
| 空手道部 | 東海地区大学空手道選手権大会個人戦 | 男子組手 | 3位 | 小野木 顕憲 | 商学部2年 |
| アーチェリー部 | 東海学生アーチェリー選抜選手権大会予選 | 男子の部 | 1位 | 丸山 雄基 | 人間健康学部1年 |
| | 東海学生アーチェリーインドア選手権大会 | 男子の部 | 3位 | 坂井 銀河 | 経済学部3年 |
| 硬式野球部 | 愛知大学野球連盟春期リーグ | 2部 | 優勝 | | |

2006年11月～2007年3月 行事予定

11月

- 1日(水) シティーカレッジ「南のアジアを知る」
〔～11月22日(水)まで〕
- 4日(土) 第42回大学祭 〔～5日(日)まで〕
- 5日(日) オープンキャンパス
ホームカミングデー(思星館)＜同窓会主催＞
陶芸館祭(陶芸館)＜大学祭協賛＞
- 6日(月) シティーカレッジ「信仰に生きた女性に学ぶ」
〔～11月27日(月)まで〕
- 8日(水) TOEFL-ITP〔国際交流センター〕
- 10日(金) シティーカレッジ「キャリアデザイン研修」
〔～12月1日(金)まで〕
- 11日(土) 一般推薦入試/スポーツ推薦入試(前期)
- 12日(日) 一般推薦入試/特別指定校推薦入試
- 22日(水) スピーチコンテスト<英語>
- 26日(日) 中国語検定〔外国語教育センター〕
- 29日(水) 学生大会(体育会主催)

- 第2回宗教講演会(キリスト教センター)
- 第49回NGUチャペルコンサート
(キリスト教センター)
- 第6回アフタヌーンコンサート(キリスト教センター)

12月

- 2日(土) 自己推薦AO入試(1期)/
特別自己推薦AO入試(前期)
- 6日(水) TOEFL-ITP〔国際交流センター〕
- 13日(水) TOEIC〔外国語教育センター〕
- 19日(火) クリスマスチャペル(キリスト教センター)
- 22日(金) クリスマスチャペル(キリスト教センター)
- 秋学期授業終了〔冬季休暇～1月8日(月)〕
- 25日(月) 大学クリスマス礼拝(キリスト教センター)

- リーダーシップキャンプ〔体育会・文化会〕
- 学生部長表彰〔学生課〕
- 秋季献血運動〔体育会主催〕
- 留学生別科秋学期修了式

2007年1月

- 6日(土) 大学院修士論文提出期限
- 9日(火) 秋学期授業再開
- 12日(金) 卒業論文提出期限
- 15日(月) 秋学期定期試験 〔～26日(金)まで〕
- 26日(金) 秋学期授業終了
- 29日(月) 大学院秋学期授業終了
- 31日(水) 自己推薦AO入試(2期)/特別入試〔後期(外国人留学生・海外帰国生徒・社会人)〕
スポーツ推薦入試(後期A日程)/編入学試験(指定校後期・一般後期)

2月

- 1日(木) 一般入学試験(前期) 〔～3日(土)〕
- 4日(日) 大学院入試(修士課程2期)
〔経済学専攻 英語学専攻 中国語学専攻〕
集中講義 〔～23日(金)〕
- 6日(火) TOEFL-ITP〔国際交流センター〕
- 7日(水) 大学院入試(博士前期課程2期)(経営政策専攻)
- 10日(土) 大学院入試(修士課程2期)/
(博士後期課程)〔経営政策専攻〕
- 11日(日) 一般入学試験(後期A日程)
特別指定校推薦入試
特別自己推薦AO入試(後期)

- 会社説明会〔キャリアセンター〕
短期/中期留学実施 〔～3月〕

3月

- 7日(水) TOEFL-ITP〔国際交流センター〕
- 8日(木) 卒業確定者公示
- 10日(土) 一般入学試験(後期B日程)/特別指定校推薦入試/スポーツ推薦入試(後期B日程)
- 15日(木) 学位記授与式・修了式

- 学長表彰〔学生課〕



本学の高校生向けイベント「高校生英語スピーチコンテスト」が10月8日(日)に、さかえサテライトで開催されました。9回目にあたる今年のコンテストには33名の応募があり、審査の結果12名を選考しました。応募のあったみなさんの英語レベルは非常に高く、どれも日頃の英語に対する関心と努力の成果が見受けられました。激戦となったコンテストで、下記の高校生のみなさんが入賞しました。

| | | | |
|-------|--------|-------------|----|
| 特別優秀賞 | 高田 陽子 | 岐阜県立大垣北高校 | 2年 |
| 優秀賞 | 高木 千尋 | 私立光ヶ丘女子高等学校 | 2年 |
| | 中根 章会 | 私立光ヶ丘女子高等学校 | 3年 |
| | 杉浦 あがさ | 私立光ヶ丘女子高等学校 | 2年 |
| 佳作 | 別府 寛子 | 私立神戸女学院高等学校 | 2年 |
| | 富澤 麻美 | 私立南山国際高等学校 | 2年 |
| | 清水 美有 | 岐阜県立大垣北高校 | 2年 |
| | 山本 知里 | 私立神戸女学院高等学校 | 1年 |



第9回高校生英語スピーチコンテストを開催

大学祭 盛大に開催

第42回名学大祭(大学祭)クラブ代表(浅岡輝之さん)が外国語学部3年が11月4日(土)・5日(日)に開催されました。人気の「サンセット・スウィッシュ」のライブや一般の方も参加できる企画など多彩なプログラムを用意。5日(日)には、第15回ホームカミングデーや第11回陶芸館祭も開催されるなど連日賑わいを見せ、多くの学生のみならず、んやご父母、教職員や同窓生のみなさん、地域のみなさんの協力で大いに盛り上がりました。



梅村 圭一



配属部署 学生課
趣味 野球観戦、旅行
学生へのメッセージ 悔いの残らない学生生活を送って下さい。

2006年度 新任者紹介





ホームページトップ画面

学校法人 **名古屋学院大学**

発行日■2006年11月20日

編集■名古屋学院大学 総合政策部

発行者■名古屋学院大学

愛知県瀬戸市上品野町1350 〒480-1298

TEL 0561-42-0317

本学の情報はホームページでもご覧いただけます

<http://www.ngu.jp/> E-mail: upr@ngu.ac.jp